



目次

CONTENTS

目次	1
トップメッセージ	2
研究開発方針	3
NTTグループサステナビリティ憲章	4
環境エネルギービジョン	5-7
環境方針	8

特集1 環境に貢献する研究開発 9-11

- テスト活動分析に基づくフィードバック指向テスト技術：機能結合テストの効率化 LatteArt
- 視差なしワイド映像合成・伝送システム
- 采配高度化エンジン技術

特集2 環境負荷低減と社会貢献を支える研究開発 12-16

- IOWN APNの実現に向けた大容量光トランスポートネットワークの故障予兆部位推定技術を実証
- 世界初、通信電波を用いた測位情報に基づく無線基地局の低消費電力化の実現
- メタバース空間×リアル空間におけるWell-being体験を通じて地域創生に貢献
- 世界初、貴金属・有害物質を含まない材料で構成した回路・電池で通信信号の生成に成功
- 世界初、交通全体の最適状態を予測・制御する分散深層学習技術確立

2022年度 環境マネジメント報告 17-23

研究所紹介	17
概要／体制	18
内部監査／ISO14001認証登録	19
目標と実績	20
環境影響評価の概要／研究開発成果グリーンアセスメント／	
研究開発成果の情報公開／環境貢献度評価	21
環境教育	22
環境負荷の全体像	23

2022年度 環境活動の報告 24-30

本業における持続的発展可能な社会への貢献／	
自家発電した電力の利用／電力使用量削減の活動結果	24
省資源活動／PPC用紙の使用量削減／再生水の活用／	
グリーン製品の購入／その他の取り組み	25
環境汚染防止活動	26-27
廃棄物の適正管理活動	28
生物多様性の取り組み	29-30

コミュニケーション 31-33

環境レポートの公開、情報公開	31
地域との交流（清掃活動）	32
地域との交流（一般公開）	33

安全・衛生 34-35

総合防災訓練	34
安全・衛生活動	35

環境報告ガイドライン対照表 36

- 環境レポート2023発行の目的
本環境レポートはNTTの4つの総合研究所における
① 研究開発成果による環境貢献活動
② 研究開発の環境負荷低減活動
③ 地域貢献活動
について、お客さまや地域の皆さまに情報を公開することを目的に、NTTのホームページに掲載しています。
(<https://www.rd.ntt/environment/>)

- 報告対象範囲
IOWN総合イノベーションセンタ
サービスイノベーション総合研究所
情報ネットワーク総合研究所
先端技術総合研究所
ロケ所在地
横須賀：神奈川県横須賀市光の丘1-1
武蔵野：東京都武蔵野市緑町3-9-11
厚 木：神奈川県厚木市森の里若宮3-1
品 川：東京都港区港南1-2-70
田 町：東京都港区芝浦3-4-1
筑 波：茨城県つくば市花畑1-7-1
京阪奈：京都府相楽郡精華町光台2-4
研究開発要員 約2,300人
(<https://www.rd.ntt/about/index.html#scale>)

- 対象期間
2022年4月1日～2023年3月31日
※一部対象期間外の報告も含まれます。

- 参考にしたガイドライン
環境省 環境報告ガイドライン（2018年版）
GRIスタンダード

- 記述について
本環境レポートにおいて、「IOWN総合イノベーションセンタ」はNTT IOWN総合イノベーションセンタを、「サービスイノベーション総合研究所」はNTTサービスイノベーション総合研究所を、「情報ネットワーク総合研究所」はNTT情報ネットワーク総合研究所を、「先端技術総合研究所」はNTT先端技術総合研究所を示しています。

そして、4つの総合研究所を称して、「四総合研究所」もしくは「四総研」としています。

さらに、「横須賀研究開発センタ」はNTT横須賀研究開発センタを、「武蔵野研究開発センタ」はNTT武蔵野研究開発センタを、「筑波研究開発センタ」はNTT筑波研究開発センタを、「厚木研究開発センタ」はNTT厚木研究開発センタをそれぞれ示しています。

ISO14001は、2015年に発行されたISO14001：2015を示しています。

本環境レポートに掲載した内容は、過去の事実だけではなく、発行時点における計画や将来の見通しを含んでいます。将来の活動内容や結果が掲載内容と異なる可能性があることをご了承ください。